事業所名　児童発達支援　ここにこ

支援プログラム

作成日　2026 年　4 月　1 日

法人（事業所）理念		ひとりひとりの「できた！」を大切に、安心して過ごせる環境を整え、自分から「やってみたい！」と思える気持ちを育てる。			
支援方針		・安心して過ごせるように環境を整え、自分から「やってみたい！」気持ちを育てる。 ・「自分でできた！」という経験を積み重ね、生活に必要なスキルを身につけられるように支援します。 ・「伝えたい」気持ちを育て、一人ひとりに合ったコミュニケーション手段を身につけられるように支援します。			
営業時間		9 時　0 分から　18 時　0 分まで		送迎実施の有無	なし
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	生活リズムを整え、しっかり活動に参加できるコンディションを作ることに、保護者と協力して取り組みます。 一人ひとりの発達に合わせた生活スキルの習得に向けて身体づくりから考えます。			
	運動・感覚	姿勢保持のサポート。キッズヨガや体を使う活動をする中で、固有覚・前庭覚などの感覚運動、感覚の特性を踏まえた環境調整、動作の基本技術の向上をさせる。 ビジョントレーニングなど、視覚認知を向上させるための取り組みを行う。			
	認知・行動	「自分で考える」や「自分の力でできる」ことを大切にし、活動や課題を設定していきます。 見通しをもって主体的に行動できることを目標に、分かりやすい環境調整を行います。			
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの意欲が持てるやり取りの場を作ることで、「伝えたい」気持ちを育てます。 一人ひとりにあったコミュニケーション手段を工夫し、自発的な発信を促します。（PECSや絵カードの使用・マカトンの使用）			
	人間関係 社会性	一人ひとりのペースに合わせて、他者との関わりの中で、相手との距離や関係を作れるように支援します。 個々の理解力に合わせて、集団生活に必要なルールについて学べるようにします。（順番を守る・椅子に座って待つなど）			
家族支援		アタッチメントの安定。 家族からの相談に適切な助言をする。 研修やペアレントトレーニングなど障害の特性に配慮した家庭環境の整備	移行支援	保育園・幼稚園・就学先（小学校・支援学校など）と、子供の特性や必要な配慮を共有する。	
地域支援・地域連携		通所する子ども達に関わる地域の関係機関と連携した支援	職員の質の向上	外部研修や年間研修計画に基づいた研修 事例研修や療育会議などの実施	
主な行事等		夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティーなど季節の行事の取り組み。			